

者である田口高校や豊橋の「岩屋緑地に親しむ会」にご指導いただきながら、炭作りの研究をしています。

これからは、竹切りから竹炭作りの講習会を開いて、竹炭・竹酢液の利用方法や効果などをPRすることで、多くの市民の方に竹林による里山の荒廃を認識していただきたいと思います。さがらの森だけでなく、蒲郡の里山の自然の大切さを知ってもらいたいですね。



清掃と防犯を融合 クリーン・パトロール

企業ボランティアを推進する会(東海警備グループ)

会長 水野 康博

安心して暮らせる街づくりのためには、まず街の顔である駅前でのゴミのポイ捨てをぜひ無くしたいと考えました。ゴミのポイ捨ては、誰でもがうっかりやってしまいかねない行為ですが、重大なマナー違反です。地域社会がそのような姿勢をアピールすることで、重大な犯罪を抑える効果があると考え、清掃と防犯活動を融合させた「駅前クリーン・パトロール」に取り組みことになりました。自

分たちが暮らす街は自分たちの手で守る。それが「駅前クリーン・パトロール」の基本理念です。

活動を皆さんに知っていただきたく、助成金で揃いのユニフォームを作成しました。9



月にはそれを着用して出発式を行い、その後、毎月10日前後に蒲郡駅前にてクリーン・パトロールを行っています。その他、「蒲郡男女いきいきフォーラム」の展示コーナーや50キロハイクのボランティア活動などにユニフォームを着用して参加しPR活動をしました。

11月には、初めて市民の方の参加があり、大変うれしく思いました。企業といえども、その地域の一員であり、町内会の一員であると考えていますので、今後多くの市民の方の参加が増え、一緒に活動ができたらと思っています。そのため、いろいろな機会を利用してPR活動をしていきたいと思っています。地道な活動ですが、

まずは毎月続けていくこと。それが、安全安心な街づくりにつながると信じています。



子どもの笑顔が 私たちの最大の報酬

NPO法人 オアシス

代表 渡邊 坂司

私たちは、マジック公演を通して子どもたちの好奇心を刺激し、その感性を育て「夢」と「希望」を与えることで、青少年の健全育成を図る、そんな地域社会に役立つことを目的に活動しています。また、愛知県内だけでなく、国境や人種、そして政治や宗教を超え、アフリカを主とした途上国においても活動しています。海外では、マジック公演だけでなく、学校や職業訓練所の建設、井戸掘りや医療機器の整備など、安心して老いることのできる社会が実現できるような、地域の人々と心を通わせながら活動を続けています。

さて現在、蒲郡市内においては、子どもたちにマジックを見てもらうだけでなく、マジックを実践することで感性を育むよう、「地球っ子マジシャン」の育成を行っています。

ます。9月から大塚や形原をはじめとする児童館で実技とネタ作りの指導をしています。子どもたちの楽しそうな表情を見ると「指導してよかったなあ」とつくづく感じます。

練習した成果を観客に見てもらい、コメントを聞きながら演技方法を修正。



3月公演予定の「地球っ子マジシャン卒業記念公演」に向けて、演技のコツを体得してもらおうと何度も練習をかさねています。特に、かたはら児童館の児童3人の大掛かりなイリュージョンマジックの練習には、力が入っています。ぜひ、皆さん、記念公演を見に来てください。この子どもたちの中から、私たちの活動の後継者が生まれてくれればうれしいです。

市民活動サポートセンターには、
元気な市民の情報がいっぱい！
●市民活動サポートセンター
069-53380